



新年のご挨拶



日本デジタル教科書学会
会長 長谷川 春生

新年明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

本学会は、デジタル教科書・教材等の活用に関わる実践や研究を通して、教育に貢献することを主な目的として2012年に設立されました。本年は学会設立から8年目となります。現在、学会員の実践や研究の分野は非常に広いものとなっており、年次大会等の研究発表内容は、デジタル教科書・教材に関わるもののみではなく、教育現場におけるICT活用や情報活用能力の育成に関わるものも含めて多様なものとなっ

ています。本年も、皆様の実践や研究についての発表の場として、また、情報共有の場として、本学会がお役に立てるようにしていきたいと考えています。

昨年12月には、文部科学省より「学習者用デジタル教科書の効果的な活用の在り方等に関するガイドライン」が公表されました。今後は、児童生徒の学習を充実させたり、教科書の内容へのアクセシビリティを高めたりするための学習者用デジタル教科書の活用が一層求められます。本学会では、学習者用デジタル教科書の活用を含む、タブレットPC等を活用した学習に関する実践や研究の成果が多く発表されてきています。これらの知見は、今後の学習者用デジタル教科書の効果的な活用を考える上で大きく役立つものと考えます。

また、昨年の年次大会等では、小学校におけるプログラミング教育に関する発表が数多く行われました。今後、2020年4月からの全面実施に向けて、全国の小学校において準備が本格的に進められることとなります。本学会で発表されているプログラミング教育に関する実践や研究の内容は、各学校で具体的なプログラミング教育の内容を検討していく上で役立つものと考えます。本年も年次大会等における積極的な発表をお願いしたいと考えています。学会として、プログラミング教育に関する研究会を開催したり、後援したりすることも進めていきます。

そしてこれからも、研究プロジェクト・研究グループへの研究費補助や、会員の主体的な研究会開催を支援する研究会開催助成の制度を、皆様の研究活動のためにぜひ活用してください。本学会の論文誌「デジタル教科書研究」への投稿も期待します。採択された論文等は、J-STAGEにも登録されます。

第8回年次大会は、8月17日（土）、18日（日）に新潟で開催の予定です。大会実行委員会による準備も進められています。皆様と新潟でお会いできることを楽しみにしています。

本年も本学会に対する一層のご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。

日本デジタル教科書学会第8回年次大会（新潟大会）のご案内



日本デジタル教科書学会第8回年次大会（新潟大会）のご案内 2019年度の年次大会は、当学会が発足した地である新潟で開催いたします。新潟での年次大会開催は、2014年度以来2回目となります。前回の大会では、「進化するタブレット端末活用～今、育成したい能力～」をテーマに研究・実践発表やセミナー・ワークショップが行われました。また、2013年2月には、「Edu × Digi Festa Niigata 2013 ～新潟からデジタル教科書・教材を語ろう～」が行われました。真夏・真冬にもかかわらず、多くの皆様にお越しいただき、盛会となりました。今回の新潟大会でも、デジタル教科書・教材の推進、実践、研究活動に携わる研究者と実践者の相互の協力により、デジタル教科書・教材を用いた実践の報告を数多く提言していただき、追究していきたいと考えております。様々な企業展示もあります。基調講演では、東北大学大学院 情報科学研究科 教授 堀田龍也先生にご登壇いただく予定です。日程は、2019年 8月17日（土）・18日（日）、新潟駅付近をメイン会場に予定しております。詳細につきましては、ホームページやメーリングリスト等を通して、皆様に順次お知らせしていきます。当学会は、教員や研究者だけでなく、これからの教育に関心のある皆様にかかれた会です。是非、参加いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

第8回年次大会（新潟大会）実行委員長 大関 正人

■ 研究会「小学校におけるプログラミング教育はどうあればよいかー教科等の授業実践を基に考えるー」開催のご案内

本学会後援のプログラミング教育に関する研究会が開催されます。第1部は小学校におけるプログラミング教育の目的と進め方に関する講演、第2部は教科等の授業実践に関する発表とディスカッションです。これらは、プログラミング教育についての理解を深めるためだけではなく、2020年度からの全面実施に向けての準備にも役立つものと考えます。小学校等の先生方、プログラミング教育に関心のある方の参加をお待ちしています。

【日 時】 平成31年2月16日（土） 13:30～17:00（受付13:00～）

【会 場】 富山大学人間発達科学部1棟1階112教室（富山市五福3190）

【参加費】 無 料

【プログラム】

(1) 開会（13:30～13:35）

(2) 第1部 講演（13:35～14:35）

演題「小学校におけるプログラミング教育の目的と進め方」

講師 兼宗 進 氏（大阪電気通信大学工学部教授）

(3) 第2部 実践発表・ディスカッション（14:50～16:55）

① 小学5年算数科「正多角形をかこう」

高岡市立能町小学校 教諭 片田 光一郎 氏

② 小学6年理科「電気の利用」

富山大学人間発達科学部附属小学校 教諭 福田 慎一郎 氏



- ③ 小学 6 年総合的な学習の時間
「わたしたちの暮らしとコンピュータ」
黒部市立生地小学校 教諭 伊東 史子 氏
- ④ 小学 5 年総合的な学習の時間
「よりよい生活を送るために～人型ピクトグラムで情報を伝えよう～」
富山大学人間発達科学部附属小学校 教諭 岩山 直樹 氏
- ⑤ 小学 5 年家庭科「じょうずに使おうお金と物」
滑川市立南部小学校 教諭 手塚 明美 氏
- ⑥ 実践発表以外の実践例の紹介とディスカッション（進行 長谷川 春生）

(4) 閉会（16:55～17:00）

【参加申込み方法・詳細等】

<http://www3.u-toyama.ac.jp/hasegawa/index.html> をご覧ください。

■ 研究プロジェクト・研究グループへの研究費助成について

本学会では、会員の研究活動を支援するために、研究プロジェクト・研究グループへの研究費助成を行っております。会員の皆様の積極的な応募をお待ちしております。研究プロジェクトへの助成額は最大10万円、研究グループへの助成額は最大5万円です。研究プロジェクトでは本学会論文誌への投稿と本学会年次大会における発表、研究グループでは本学会年次大会における発表を求めるなど、応募の条件があります。詳細は学会ウェブサイト (http://js-dt.jp/research_support/) をご覧ください。申請は随時受け付けております。ただし、本学会の研究助成に関する年度予算額の上限に達した時点で受付を終了いたしますのでご了承ください。皆様の積極的な取り組みを期待いたします。

■ 研究会開催助成について

本学会では、会員の皆様の主体的な研究会の開催、研究活動の活性化、研究の発展、会員相互の連携を促進すること等を目的に研究会開催助成を行っております。申請に関する詳細は本学会ウェブサイト (http://js-dt.jp/seminar_support/) をご確認ください。会員の皆様の積極的な応募をお待ちしております。

■ 学会誌「デジタル教科書研究」への投稿のご案内

学会誌「デジタル教科書研究」は、研究者と実践者の自由な発想に基づき、デジタル教科書・教材等の発展の場として機能することを目的として刊行し、投稿論文の通年募集を行っております。

詳しくは、学会 HP (<http://js-dt.jp/学会図書館/学会誌「日本デジタル教科書研究」/>) をご確認ください。デジタル教科書研究およびその周辺領域研究に関わるみなさまの積極的な投稿をお待ちしています。